

ふるさとTOYOTASHIMOプロジェクト

下関市立豊田下小学校

1 はじめに

本校は、下関市豊田町の南部に位置し、児童数 48 名の小規模校である。豊かな自然に恵まれた農村地域で、稲作の他にぶどう・なし・りんごの栽培も行われている。本地区の諸団体や地区民とのつながりは強く、学校教育への協働意識もたいへん高い。

昨年度に続き、今年度もコロナ禍の 1 年間であった。しかしながらこのピンチをチャンスと捉え、コロナ禍で地域と学校とのつながりが弱くなるからこそ、みんなの安心安全を確保しながら、オール豊田下が一致団結し、児童を育まなければならないという思いを、地域や家庭のみなさんと共有をした。

そして、地域や家庭の理解や支援をいただいて、組織的・計画的にふるさとのひと・もの・ことから学び、オール豊田下の連携・協働で、あたたかい学校創り、地域創りをすすめ、ふるさとを愛し、未来を創る活動を行うことをめざした。

2 活動の実際

(1) アンモナイトプロジェクト

①豊田下独自の学習の場の設定

ホテルの里ミュージアムの学芸員と連携し職員室前のプラ舟の中に化石の含まれた岩石を置き、雨ざらしにして風化させ、身近なところで化石を観察できる環境を作った。



②学芸員等の指導による「化石クラブ」の活動

クラブ活動の時間（年 8 回）に、開設 3 年目の「化石クラブ」が活動している。前出の学芸員を講師に、専門的な活動を展開できた。

《主な活動内容》

- ・フィールドワーク…実際に化石のとれる山に行き化石採集をした。
- ・化石のクリーニング、ラベリング
- ・化石標本作り



フィールドワーク



化石のクリーニング



化石の標本作り

(2) 多世代交流プロジェクト

①「しめ縄」作りを地域と協働で準備し、交流や伝統文化の継承をはかる。

地域みなさんに「わら細工」を教えていただきながら一緒に作成することにより、交流を深め、くらしの伝統を知る機会となり、大切な地域の文化を継承する一役を担うことができたと思う。

また、今回は、『わらすぐり』に児童が参加、『うらじろとり』に多数の教職員が参加したことで、例年以上の深い交流ができた。



わらすぐり



うらじろとり



しめ縄作成の様子

(3) 地域探訪プロジェクト

①ふるさとオリエンテーリング（学校行事）

地域の良さを知る活動として「ふるさとオリエンテーリング」を実施した。校区内の史跡や景勝地（豊田神社・江良古墳群・神上寺・徳仙の滝）をポイントにして、児童・職員・保護者・地域の方々とチームを作り、歩きながら、会話をしながら、ふるさとの自然を満喫し、よさに気づかせるようにさせた。ポイントごとに、その場にちなむゲームや、クイズを行い、地域に対して、楽しみながら理解を深めた。

(4) その他のプロジェクト

①学校地域連携カリキュラムの見直し

教職員だけではなく、学校運営協議会と一緒に学校地域連携カリキュラムを見直しを行った。またこの活動は、豊田中学校区（豊田中・西市小・豊田下小・各地域行事）をワンペーパーにまとめることができた。来年度は、西市分校、こども園へに広げ、『豊田の学び』の充実につなげていきたい。

3 おわりに

学校行事や生活科や総合的な学習の時間などと「ふるさと学習」を連携させた体験活動を継続することにより、ふるさとの理解や愛着が深まっている。

今後は、コミュニティー・スクールや協育ネットとの連携・協働のシステムの確立、PTAの役割分担の明確化、そして、主役である児童の自主性や主体性をさらに伸ばす必要がある。

来年度も山口県教育会の支援をいただきながら、児童が学校生活や地域の中で主体的に活動し、学校創りや地域創りに参画し、ふるさと豊田下を大好きになる仕組みづくりや取り組みをオール豊田下で実践していきたい。